



十五夜のお話

むかし(旧暦が使われていたころ)は、7月から9月までが「秋」とされており、真ん中に当たる8月は、「仲秋」とよばれていました。この月の15日(十五夜)の夜に出る満月は、「仲秋の名月」と言われ、収穫を祝ってお祝いをし、月見をする風習がありました。これは、平安時代に中国から伝わり、各地に広まったそうです。

秋の収穫の始まるころとも重なり、お月見には、収穫祭の意味もこめられています。

現在では、9月後半から10月初めごろになります。

今年の十五夜は、9月13日です。

あすなろ書房
「和の行事絵本」より



秋分の日 9月23日

「先祖を敬い、亡くなった人々を偲ぶ日」として制定されました。この日は昼と夜の長さが同じになり、この日を境に昼間がだんだん短くなります。

この日をはさんで一週間を“彼岸”といい、お墓参りなどをして先祖を祭る習慣があります。



悲しい出来事がありました

今年もすいこうの子どもたちは、夏のあそびを満喫しました。プールあそびに泥んこあそび、幼児さんはもちろんですが、0.1歳児さんもプールあそびを楽しみ、水面をバシャバシャたたいて水の感触を楽しんだり、顔に水がかかっても笑っていたり、2歳児さんの中には、自らバケツに水をくみ、頭からかけて「ばあ〜」と楽しむ子どももいました。水だけではなくでは、絵の具や色水、氷などさまざまな素材を使って夏ならではのあそびが工夫され、展開していました。子どもたちの日焼けした肌から楽しかった夏の様子が伺えることでしょう。

夏は、職員研修に参加したり、夏休みをとったりする職員が多いので、日頃よりも保育室に応援に入る機会がたくさんあります。2歳児クラスに入ったとき、おやつの後、手を洗うために子どもたちが、部屋から出てきました。その時、お友だちとぶつかってDくんが転げそうになりました。驚いたDくんに「びっくりしたね。怖かったね。」と駆け寄ると、何度も「うんうん」と頷いていました。その様子を見ていたMくん。水道の近くまで行っていたのに引き返ってきてDくんの顔を覗き込んだり、頭をなでたりしたあと、手を引いて一緒に水道まで行きました。Mくんのように、涙が出ているお友だちがいたら近寄って心配そうにする子やティッシュペーパーを持ってきてくれる子など2歳児さんは優しい子ばかりです。この時期は、「おおかみさんもみんなお友だち」というアニメズムの世界で生活しているので、優しい気持ちがいっぱいですが、少しずつ正義の味方のヒーローになりきったりしてアニメズムの世界から脱していき、攻撃的になるお子さんも出てきます。更に幼児になると、テレビなどで覚えた言葉を理解しないまま使ったり、目に見える事象をそのまま言葉にして、気付かないうちに友だちを傷つけてしまうこともあります。そんな時期の年長クラスで悲しい出来事がありました。

一人の子どもの様子をみて、何人かの子どもがアニメキャラクターの名前で呼んだようです。それは、呼ばれてうれしい名前ではないのですが、呼ばれた子は、誰にも言えず、我慢していたよう

です。いつもの様子と違うことに気づいた保護者が聞いてみると「そのアニメキャラクターの名前で呼ばれることが嫌だ」と話したそうです。私は、お便り帳でそのことを知りました。とても悲しい気持ちになりましたが、そのお子さんが保護者にちゃんと伝えたこと、保護者がそれをしっかり受け止めて知らせてくださったことに感謝しながら、すぐに年長の子どもたちに話をしました。その日は、8月6日広島に原爆が投下された日でした。意地悪をしようと思って言った言葉ではなく、言われて悲しい思いをしている友だちがいることに気づいて欲しい、そして、年長さんになるとよいこと悪いことの判断ができるようになって欲しいと伝えました。それでは、よいこと悪いことを判断する力はどうやってつけていけばよいのでしょうか。決して大きくなっていくにしたがって自然に身につくものではありません。小さいころからまわりの大人が、子どもたちの暴言を聞いたとき、やってはいけない行動を見た時に黙認するのではなく、「今の言い方、お母さんは嫌だったな」とか、「それはやってはいけないことだったね」などと叱らず、保護者の価値観を伝えて良い方向に導いてあげたりすることが必要です。そして、どんな小さなことでも褒めたり、認めてあげることで自己肯定感を育てていく、それらのことを繰り返すことによって、判断する力が育まれていくのではないかと思います。園でも気になる行動などに気づいた時は、その都度クラスで話し合ったり、個別に話したりしていますが、気づかないこともあり、今回のように保護者の方にご心配をおかけし、申し訳なく思っております。私が気付いていないことはたくさんあると思います。保護者の方々の思いをお聞かせいただきました嬉しく思います。お父さんからのお便り帳に「これはいじめだとは思っていない。子ども同士のことだから。でもうちの子は、とても優しいいい子です。」と綴ってありました。お父さんのこの思いに私自身救われました。ご両親の思いに誠意をもって応えていけるよう心から努めてまいります。

園長



敬老の日は昭和41年から国民の祝日(9月15日)に加えられた祝日です。現在では、9月の第三月曜日に設定されています。

「多年にわたって社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日」だけではなく、すべての国民が高齢福祉について、関心と理解を深める日であると言えます。

園では、子どもたちに「おじいちゃん、おばあちゃんがいたから、お父さんお母さんが生まれ、自分たちがいるんだ」ということを伝えます。

日頃からお年寄りを尊敬し、大切にすることが育って欲しいと願っています。



工事のお知らせ

以前お伝えいたしました防犯対策のための工事が始まります。

場所

- ・正面門扉
- ・うさぎ小屋の横門扉
- ・ピロティー横駐輪場につながる通路の門の設置

以上3か所です

期間

9月13・14日(予備17日) ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いたします。

なお、この工事にあたって年長、年少組保護者の安藤様にお力添えをいただきました。

心より感謝いたします。

